

学校安全の実践力向上を目指す研修の主催団体を対象に、講師となる専門家を派遣します！

講師謝金・交通費等の
費用負担はありません

学校安全実践力向上 “出前” 講座

支援対象

複数の学校園から教職員が参加する学校安全研修などの主催団体

- * 都道府県・市町村・学校法人などの学校設置者
- * 私立学校園などの協議会・連合会
- * 校長会・教頭会・教科研究会など、教職員を構成員とする任意団体
- * 周辺（例：中学校区）の学校園も参加する研修を主催する学校園

※複数の学校園からの参加があることが要件です。
単独校園での研修などは対象となりません。



コース・内容 ※A-(1)～Cの計4コースから選択できます

A. 「危機管理 マニュアル」 見直し ワークショップ	A-(1) 学校設置者 向け	【講義とグループ演習】（120分程度） 学校設置者が学校園の「危機管理マニュアル」等の見直しを支援する 上で重要な視点・考え方等を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ● 講師による講義に加え、1班4～6人ずつのグループ討議ができる会場が必要。 （会場が準備できない団体は応相談） ● 定員：最大40～50名程度。
	A-(2) 学校園向け	【講義とグループ演習】（120分程度） 学校園現場における「危機管理マニュアル」等の見直しの進め方について具体的に学ぶ。	
B. 安全点検フィールドワーク		【安全点検実習】（120～150分程度） 1つの学校園（協力校園）を会場に、専門家とともに回りながら安全点検を実施して、安全点検の際に重要な視点や点検の進め方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自校園を参加者・専門家による安全点検の会場として提供する協力校園が必要。 ● 定員：20～30名程度。
C. ※都道府県・指定都市は支援対象外 学校安全・危機管理研修		【講義・グループワーク等】（90～120分程度） 講義・グループワーク等を通じ、学校園教職員の危機意識向上を図る。 （具体的内容は、主催団体との協議により決定）	<ul style="list-style-type: none"> ● 主催団体の希望するテーマ※に応じて講師となる専門家を選定・派遣。 ● 定員：会場規模、内容等による。

申込方法

実施時期は、いずれも令和6年9月～令和7年1月を予定しています。
右下のURL又はQRコードより参加申込用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。

申込期間：令和6年7月25日
～8月26日

支援予定数：25団体程度

申込多数の場合は抽選等で決定

<https://forms.office.com/r/Z88ZCLs2aG>



【問合せ窓口】 学校安全実践力向上“出前”講座 事務局

(株)社会安全研究所 担当：田中(たなか)・石水(いしみず)
メール：schoolsafety@e-riss.co.jp TEL：03-3260-9414

※Cコース テーマ例

(過去の研修等テーマ例)

- ◆ より実効性のある避難訓練の実施方法
 - ◆ SPSの考え方を取り入れた学校安全
 - ◆ 想定される巨大地震と学校安全
 - ◆ 地域コミュニティと連携した学校安全の推進
 - ◆ 事故・災害事例に学ぶ学校の安全対策
 - ◆ 教頭向け「学校安全における管理職の役割」
 - ◆ 養護教諭のための実践的なマニュアル
 - ◆ 判例に学ぶ学校安全
 - ◆ 災害時の心のケア
- など